

<香川県内の経済動向> (平成 29 年 3 月 15 日作成)

現在の景気：緩やかな回復を続けている。

3 か月程度の見通し：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。

個人消費：持ち直し基調。

1 月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年比 1.8%減と 2 カ月連続で減少。店調後は前年比 1.8%減と 2 カ月連続で減少。1 月のコンビニエンスストア販売（速報値）は、前年比（店調前）2.2%増加。1 月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前）1.5%増と 4 カ月ぶりに増加、ドラッグストアが同 1.3%増と 2 カ月ぶりに増加、ホームセンターが同 0.3%増と 2 カ月連続で増加。1 月の乗用車新車販売は、普通乗用車で前年比 9.8%増、小型乗用車で同 18.5%増、軽乗用車で同 6.0%と増加し、全体では前年比 10.0%増と 3 カ月連続で増加。

住宅建築：持ち直している。

1 月の住宅着工戸数は、貸家で前年比 12.3%と減少したものの、持家で同 36.3%増、分譲住宅で同 10.6%と増加し、全体では前年比 10.7%増と 3 カ月連続で増加。

設備投資：底堅く推移。

「全国企業短期経済観測調査結果（2016 年 12 月）-香川県-」における 2016 年度の設備投資は、全産業で前年度比 18.6%増加見込み。

公共工事：高水準で推移。

1 月の公共工事請負額は、県で前年比 11.6%減、市町で同 4.9%と減少したものの、国・独立行政法人等で前年同月の 0.1 億円から 5.3 億円へ増加し、全体では前年比 3.4%増と 2 カ月連続で増加。平成 28 年 4 月～平成 29 年 1 月の年度累計では前年比 7.7%増加。

輸出：底堅く推移。

1 月の県内通関輸出額は、主要品目である船舶で前年比 51.0%と増加し、全体では前年比 54.7%増と 2 カ月ぶりに増加。

生産活動：持ち直しの兆しがみられる。

12 月の鉱工業生産指数（季調済）は、前月比 4.6%上昇し、103.6 と 2 カ月ぶりに上昇。原指数は、前年比 4.9%上昇し 100.8 と 4 カ月ぶりに上昇。はん用・生産用機械工業（貯蔵槽）、化学・石油石炭製品工業（硫酸、医薬品）などで上昇。非鉄金属工業（電気金、電気銅）、窯業・土石製品工業（生コンクリート、特殊炭素製品）などで低下。

観光：堅調に推移。

1 月の県内テーマパークを含めた主要観光地の入込客数は、前年比 3.3%減と 4 カ月ぶりに減少。

雇用情勢：好調に推移。

1月の有効求人倍率（季調済）は、前月と同率の1.66倍。新規求人数（原数値）は、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業等で増加し、全体では前年比0.7%増と18カ月連続で増加。

（トピックス）

○四国4県とJRグループが4月から開催する大型観光キャンペーン「四国 destinations キャンペーン（DC）」の共同記者会見が2月14日、高松市内のホテルであった。4月1日から6月30日までの期間中、四国各地で約180のイベントを展開し、四国4県以外からの延べ宿泊者数の1割増を目指す。四国での同キャンペーン開催は14年ぶり。「学（まなび）くるり」「観（ながめ）くるり」「遊（あそび）くるり」「心くるり」「食（グルメ）くるり」の五つのテーマに分け、各地でイベントや展覧会などを開催。これに合わせて旅行代理店は首都圏や中部、関西、九州発の団体向け13商品、個人向け18商品の旅行商品を用意した。県内では、金刀比羅宮（琴平町）で「こんぴらさんの“おたから”展」と題し、同宮が所蔵する刀剣や絵巻などの貴重な文化財を紹介。観音寺市の銭形砂絵の砂ざらえを体験できるイベントや総本山善通寺、大窪寺などで仏像や文化財の特別公開もある。4月1日には琴平町の金陵の郷など4県各地でオープニングセレモニーが開かれる。

項目	変化方向			評 価				
	好転	不変	悪化	晴	晴一部曇	曇	曇一部雨	雨
現在の景気	○	●	○	○	○	●	○	○
3か月程度の見通し	○	●	○					
個人消費	○	●	○	○	○	●	○	○
住宅建築	○	●	○	○	●	○	○	○
設備投資	○	●	○	○	○	●	○	○
公共工事	○	●	○	○	●	○	○	○
輸出	○	●	○	○	○	○	●	○
生産活動	○	●	○	○	○	○	●	○
観光	○	●	○	○	○	●	○	○
雇用情勢	○	●	○	○	●	○	○	○
企業収益	○	●	○					
企業倒産	○	●	○					
資金需要	○	●	○					